

28年度 阿賀野市学校保健部 活動報告

部長 山崎 玲子

1 研究主題

児童生徒の生きる力を育む学校保健活動の充実を目指して
「学校保健活動を推進するための養護教諭のコーディネーション行動」（2年次）

2 研修の概要

4月20日（水）	組織の構成・役割分担、年間計画立案
6月7日（火）	研修計画案協議、保健統計冊子についての検討
8月9日（火）	講義・演習
11月22日（火）	自校の取組の発表及び検討
11月17日（木）	学校保健統計冊子編集会議
12月16日（金）	学校保健統計冊子製本作業・発送準備
12月19日（月）	学校保健統計冊子関係機関に配付

3 研修の実際

(1) 講義・演習

演題 「熱意が人を動かす～成果を上げるためのコーディネーション行動～」

講師 防衛省・陸上自衛隊高田駐屯地 臨床心理士 長谷川 由佳 様



(2) 学校保健統計冊子の作成

- ・90部作成し、阿賀野市内の学校、園、学校医等へ配布し連携を図った。

4 成果と課題

保健部会では、県養護教員研究協議会小・中学校部の研究主題の流れを受け取り組んでいる。昨年度は「学校保健活動を推進するための養護教諭のコーディネーション行動」について、二人の講師を招いて理論を学んだ。

今年度は、実際に養護教諭としてどのようなコーディネーション行動が必要か、体験談を交えて具体的な方法を学んだ。その後このことをもとに各自の実践を持ち寄り、検討会を実施した。成果があった方法や課題を洗い出し、今後の取組に生かす事柄を確認した。

近年、児童生徒が抱える健康課題は多岐に渡っている。日常の実践の中で、どのようなコーディネーション行動をとることが、健康課題の改善につながるのを見極めることが、養護教諭としての今後の課題である。